

# 新型コロナウイルス感染症対応において 基礎自治体が向き合った現実と課題

新型インフルエンザ等対策推進会議委員

津市長 前葉 泰幸

津市では、令和2年1月30日に三重県内で1例目の感染者を確認後、津市新型コロナウイルス感染症対策連絡調整会議を直ちに開催し、県内2例目の感染者の確認を受け、同年3月6日に津市新型コロナウイルス感染症対策本部を設置して、全庁をあげて感染症対策に取り組んできました。

令和5年5月8日までに同本部会議を138回開催し、国、県の動向や庁内関係部署の対策等について、情報共有を行い施策を決定しました。

また、市民にいち早く行政からの呼びかけや情報を届けるため、市長メッセージをホームページやケーブルテレビで68回発信しました。この間、基礎自治体が向き合ってきた現実と課題、今後の方向性について、次の3つの分野をお話しします。

- ① 新型コロナワクチン接種（感染初期）に関して
- ② 感染者の生活支援に関して
- ③ 市民生活・地域経済に関して



# ① 新型コロナウイルスワクチン接種(感染初期)に関して

予算不足

予防接種法に基づき、ワクチン接種は市町村が実施主体

令和2年10月23日  
『接種体制確保事業実施要領』通達

準備



市町村の業務

- ・人的体制の整備
- ・予防接種台帳システム等改修
- ・接種券等印刷・発送等

令和2年12月28日通知 津市上限額：約2億9,729万円

増額

**1/ 8 健康づくり課にワクチン担当職員3名配置**

1/28 補正予算計上

1/29 コールセンター業務(3/15開設)発注

※ 電話番号をナビダイヤルにするなど仕様を抑えて発注

**2/ 8 新型コロナウイルスワクチン接種推進室設置(11名、最大時25名体制)**

2/ 8 コールセンター業務→不調

2/10 コールセンター業務再発注→業者決定

※ 外国語対応の削除、オペレーターの減員などさらに仕様を抑えて発注

令和3年 2月19日通知 津市上限額：約6億6,546万円

フリーダイヤル、外国語対応、オペレーター増員など順次追加

対応

○通常業務の上乗せとなる臨時特例接種だったが、早急な接種体制を構築することができた

課題

○当初示された上限額では、十分な接種体制の構築が困難であった  
○仕様の変更や、発注時期の変更などを工夫し接種体制を構築する必要があった

今後

○何に、いつ、どのくらいの経費が必要か判明した今回の経験を活かして、国は必要な予算を実施主体である市に早期に提示をしてはどうか

# ① 新型コロナウイルスワクチン接種(感染初期)に関して

1日100万回  
接種

国からの指針

『安心安全な接種体制構築のため、地区医師会等と綿密な協議を行い、接種すること』

○地区医師会等と時間をかけて協議

R3年4月 高齢者（老健施設）接種開始



4月23日【首相会見】 接種を希望する高齢者全員が7月末までに2回接種  
5月 7日【首相会見】 1日100万回接種可能な体制を構築

R3年5月 集団接種（市内3か所）、個別接種（市内125か所）開始



R3年6月 特設集団接種会場開設（市内3か所）



R3年7月 集団接種会場接種枠拡大

対応

○多くの市民を対象とした集団接種の経験がない中、早急に集団接種の体制を構築することができた

課題

○地区医師会等と十分な協議を行い接種体制を構築したが、国から接種体制再構築の指示を受け、再度協議が必要となり時間を要した

今後

○実施主体である市に全体像を示した上で、国民に向けたメッセージを早期に国が統一的に発信してはどうか

# ① 新型コロナウイルスワクチン接種(感染初期)に関して

ワクチン  
不足

R3年4月以降の国の方針

『R3年7月までに2回接種完了、1日100万回接種』

○R3年5月から、特設会場の開設や接種枠の増による体制整備を構築



6月14日 ワクチン配分方針に係る通知  
ワクチンの配分に関して、VRSの接種記録を基に使用割合  
(接種数/配分数) の高い自治体を優先

○R3年6月 接種率が先行して高かった小さい町村に追加配分され、3週間で2回接種をする  
特殊性もあり、流通に時間がかかり、流通在庫が増えてみえてしまう都市部でワクチンが不足

対応

○短期間に接種体制を整えることができた

課題

○接種加速の指示により接種体制を整えるも、ワクチン不足により、個別医療機関  
への配分や集団接種会場の予約枠数の調整に苦労した。他の地方自治体では、  
集団接種会場を一時閉鎖するところもあった

今後

○国は、掌握しているワクチン供給可能量・時期に合わせ、市に適時適切な接種  
体制構築の依頼や指示を行ってはどうか

# ① 新型コロナウイルスワクチン接種(感染初期)に関して

## 接種記録

VRS（ワクチン接種記録システム）によるワクチン接種記録

- ① 個別医療機関によりワクチン接種
- ② 予診票を個別医療機関から回収し、市へ配送（業務委託）
- ③ 市がVRS端末により接種情報を記録（職員＋人材派遣）

緊急対応

6月14日 ワクチンの配分に関して、VRSの接種記録を基に使用割合（接種数/配分数）の高い自治体を優先する通知

- ① 個別医療機関によりワクチン接種
- ② 予診票を個別医療機関から回収し、市へ配送（業務委託） **+職員による回収**
- ③ 市がVRS端末により接種情報を記録（職員＋人材派遣） **+職員増員**

対応

○VRSの記録体制を早急に増強し対応することができた

課題

○接種記録に応じてワクチンの追加配分を行うこととなったため、本末転倒ともいえるVRS入力が最優先事項となった

今後

○ワクチン接種記録は、マイナンバーカードを活用するなどによりワクチン接種関連事務全体のDX化をあらかじめ進めておくことで、関係者がリアルタイムに情報共有できる仕組みを整えてはどうか

## ② 感染者の生活支援に関して

### 保健所との 連携

- 感染者・濃厚接触者の健康観察のための情報連携
- 市保健師の三重県津保健所への派遣（206日間、延べ222人）
- 外国語での感染予防啓発（4か国語で翻訳）



#### 対応

- 感染者情報の概況について共有を図ることができた

#### 課題

- 個別の感染者に関する情報の共有が困難であった
- 保健所への保健師派遣による人材不足（保健所、市ともに）
- 市と県（保健所）の役割分担が不明確

#### 今後

- 感染者の個人情報について、感染症法に基づき、市が保健所にあらかじめ情報を求め、承認を得ておくこととしてはどうか
- 情報を迅速に共有できるシステムを構築してはどうか
- 住民支援における、市の役割を明確化してはどうか

## ② 感染者の生活支援に関して

### 在宅療養者 支援

- 在宅療養者への支援協力（民生児童委員等の協力）
- 介護サービス利用者等の感染拡大防止
- 医療機関・調剤薬局による在宅療養者支援の実施



#### 対応

- 県が食料などの生活支援を行った

#### 課題

- 介護サービスを利用する高齢者や障がい者等が感染した場合、支援が中止される事例が多かった
- 独居高齢者等の軽症患者（入院対象外）への在宅療養者支援に時間を要したが、市は直接的な支援ができなかった

#### 今後

- 県と市が連携して、独居高齢者・高齢者世帯等の一時入所施設の確保や支援ができる体制をあらかじめ構築してはどうか
- 医療職、介護職等、多職種によるネットワークを構築し、支援者が役割を認識し、療養支援を行える体制をあらかじめ構築してはどうか
- 県の保健所と市の保健センターの連携について訓練するなど準備しておくこととしてはどうか

## ② 感染者の生活支援に関して

### 保育・学校 関係

- 保育施設、学校等における感染症対策の徹底
- 臨時休園、臨時休業等に対する子ども、保護者への迅速な連絡
- 家計特別支援金支給、保育料減免対応などの事務的な対応
- 学校等では、教育環境整備や教員の勤務体制について迅速に対応



### 対応

- 一定の基準のもと自らの判断により休校などの対応を行った

### 課題

- 保育施設、学校でのフェーズ毎の感染拡大防止対策の基準が不明確
- 出席停止や臨時休業による授業時間の確保や学習の保障
- 誹謗中傷、人権侵害等への対応



### 今後

- 保育施設・学校における感染拡大対策の具体的な基準（フェーズ毎の閉鎖等に関する基準を含め）をあらかじめ決めて周知してはどうか
- 長期の臨時休業等に備えた学習保障体制をあらかじめ構築してはどうか

### ③ 市民生活・地域経済に関して

#### 交付金の活用



○新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用による事業展開

- ・市民生活・事業者支援（水道基本料金無料化、プレミアム付デジタル商品券など）
- ・市民生活支援（給食費無償化、休校時家計特別支援金、子育て家庭支援金など）
- ・事業者支援（飲食・観光事業者支援金、中小企業緊急支援金、福祉施設運営支援金、交通事業者運行継続支援金など）
- ・教育（学校感染防止対策、放課後児童クラブ運営支援など）
- ・医療衛生（医療提供体制整備特別負担金、救急業務感染防止用品、避難所感染防止資機材など）

対応

○交付金を必要な政策・事業に幅広く活用することができた

課題

○交付金の配分を待って実施するため、遅れることがあった

今後

○市が時宜を得た政策・事業をいち早く実行できるよう、国は予備費を早期に活用して交付金を事前に配分してはどうか

○県に配分される交付金を原資とした補助金事業は、配分する交付金を増額し市に任せてはどうか

# まとめ

## 適時・的確な情報提供

- 感染拡大時には内閣感染症危機管理統括庁が、各省庁の日々変化する情報を統制して発信し、全国の自治体に届くようなパイプを作る
- 国民への共通の呼びかけは国（総理大臣）が実施
- 基礎自治体の責任を果たすために、的確に情報発信できる仕組みの構築

## 市の役割の明確化

- 感染拡大時における市の役割を、マニュアル化
- 有事における、個人情報への取扱いの明確化
- 市民生活と地域経済を支える市の事業展開の財源として交付金を先行配分

## 国と地方の関係

- 国から地方に任される分野を再整理し、自治体間（県・市）の連携を強化
- 感染症対応に必要な経費と時期が判明した実績を踏まえ、自治体が迅速にその対策がとれるよう、国は、予備費を機動的に活用することなどにより早期に自治体に財源を措置
- 国の省庁縦割り構造が絡み合った構図の中、内閣感染症危機管理統括庁が、その責任と権限で、地方が感染症対応を円滑に行えるよう司令塔かつよろず相談所として頼られる存在となることを期待

# 參考資料

# 津市の新型コロナワクチン 供給状況と接種実績



ワクチン供給	第1クール	第2クール	第3クール	第4クール	第5クール	第6クール	第7クール	第8クール	第9クール	第10クール	第11クール	第12クール	第13クール	第14クール	第15クール	10月11日以降分
	975/週	0/週	0/週	3,900/週	2万1,060/週	2万3,985/週	1万5,210/週	2万1,060/週	9,360/週	1万530/週	1万4,625/週	1万2,870/週	1万2,870/週	1万6,965/週	1万8,135/週	7,605/週
	自治体希望量に基づく配分					ワクチン 不足			人口比例配分				予約状況・接種計画に基づく配分			
接種実績	8,000回/週		1万2,000回/週		1万5,000回/週		1万8,000回/週		1万5,000回/週		1万6,000回/週		1万回/週		4,000回/週	
月	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月	
津市の新型コロナワクチン接種の取り組み	<p><b>2日</b> 65歳以上の高齢者に接種券を発送</p>  <p><b>12日</b> 高齢者施設入所者への接種を開始</p>  <p><b>23日</b> 接種を希望する高齢者全員が7月末までに接種</p>		<p><b>7日</b> 首相会見 1日100万回接種できる体制を構築</p> <p><b>13日</b> 65歳以上の高齢者への集団接種を開始</p> <p><b>集団接種会場</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>津センターパレス</li> <li>イオンモール津南</li> <li>久居インターガーデン</li> </ul> <p>※2,448回/週</p>  <p><b>24日</b> 65歳以上の高齢者への個別接種を開始</p> <p><b>個別接種会場</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>125の病院・クリニック</li> </ul>		<p><b>8日～7月31日</b> 津市独自 独居・老老世帯への送迎付き接種</p> <p><b>18日</b> 高齢者施設等の従事者への接種受け付けを開始</p> <p><b>19日～7月31日</b> 三重県による大規模接種* (三重大学) *武田/モデルナ社製ワクチン</p> <p><b>21日～7月28日</b> 集団接種特設会場 (三重中央医療センター)</p> <p><b>25日～7月30日</b> 巡回型集団接種 (一志病院)</p>		<p><b>1日</b> 16～64歳に接種券を発送 集団接種会場で歯科医師による接種開始</p> <p><b>2日</b> 基礎疾患を有する人の予約開始</p> <p><b>4日～31日</b> 巡回型集団接種 (市美杉庁舎)</p> <p><b>15日</b> 集団接種枠を拡大 ※2,832回/週</p> <p><b>16日</b> 60～64歳の予約開始</p> <p><b>17日～8月29日</b> 津市独自 子どもと接する教員や保育士等への優先接種</p> <p><b>20日</b> 55～59歳の予約開始</p> <p><b>21日</b> 12～15歳に接種券を発送</p> <p><b>28日</b> 50～54歳の予約開始</p>		<p><b>2日</b> 45～49歳の予約開始</p> <p><b>6日</b> 30～44歳の予約開始</p> <p><b>25日</b> 12～29歳の予約開始</p>		<p><b>18日～10月16日</b> 津市独自 妊婦と夫・パートナーへの優先接種 (三重中央医療センター)</p>  <p><b>18日～10月16日</b> 津市独自 小・中・高校生への優先接種 (三重中央医療センター)</p> <p><b>25日～11月7日</b> 三重県による大規模接種* (ポートルース津) *武田/モデルナ社製ワクチン</p>		<p><b>2日</b> 集団接種会場の接種時間を延長</p> <p><b>集団接種会場</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>津センターパレス</li> <li>久居インターガーデン</li> </ul> <p>※3,678回/週</p>		<p><b>1日</b> 11月以降に12歳になる人など、11月中旬以降に接種を希望する人の予約開始</p> <p>津市の全人口27万6,072人 (令和3年1月1日時点)に 対する接種率(2回目)は77.5%</p>	
津市の接種率	<p>1回目 3.2% (8073人)</p> <p>2回目 1.5% (3678人)</p> <p>(4月末時点)</p>		<p>1回目 12.6% (3万1,848人)</p> <p>2回目 4.0% (1万1,500人)</p> <p>(5月末時点)</p>		<p>1回目 28.1% (7万4,914人)</p> <p>2回目 18.2% (4万5,916人)</p> <p>(6月末時点)</p>		<p>1回目 47.0% (11万8,293人)</p> <p>2回目 33.8% (8万5,048人)</p> <p>(7月末時点)</p>		<p>1回目 59.9% (15万9,314人)</p> <p>2回目 50.6% (12万7,472人)</p> <p>(8月末時点)</p>		<p>1回目 75.2% (18万9,456人)</p> <p>2回目 64.7% (16万2,999人)</p> <p>(9月末時点)</p>		<p>1回目 85.5% (21万5,422人)</p> <p>2回目 79.0% (19万8,914人)</p> <p>(10月末時点)</p>		<p>1回目 86.5% (21万7,823人)</p> <p>2回目 85.0% (21万3,983人)</p> <p>(11月末時点)</p>	

## 令和3年5月1日号 広報津より



本年2月、国は新型コロナウイルスに対応する医療従事者へのワクチン接種を国立病院機構など全国100カ所の病院で先行して始めました。3月からは県が一般の医療従事者への優先接種を進めており、4月には限定的ながら市町村が実施する住民接種も始まりました。

厚生労働省が市町村向けにワクチン接種に関する説明会を初めて開催したのは昨年12月中旬。当時、医療従事者に次いで65歳以上の高齢者を対象とした住民への優先接種が始まるのは3月下旬と見込まれており、自治体には年度内を目途とした接種体制の確保が求められました。

津市は予防接種を担当する健康づくり課に1月に3人、さらに2月に8人を増員し「新型コロナウイルスワクチン接種推進室」を創設。組織体制の整備と並行して高齢者施設側との合意形成を進め、2月1日にはいち早く高齢者施設の入所者への接種を施設内で行う方針を発表するなど、接種体制の構築を急ぎました。

政府のワクチン調達計画に狂いが生じ、それまで自治体に早めの準備を要請していた国の姿勢に変化が現れたのはその頃です。EU(欧州連合)のワクチン需給がひっ迫し、米英製ワクチンの輸入

に頼る日本は接種スケジュールの見直しを余儀なくされました。会議を重ねるごとに国の担当官の歯切れが悪くなり、ついに3月下旬からの高齢者向け接種予定は4月以降にずれ込むことになりました。それでもワクチンへの期待から接種日程に関するお問い合わせが途切れることはなく、国から具体的な情報が入らず計画の策定もままならない市町村は返答に苦慮するばかりでした。

ようやくワクチン配給第1弾の内容が明らかになったのは3月に入ってからです。国から三重県内の市町に出荷されるのは4月5日の週に2箱、12日の週に10箱、19日の週に10箱、合計22箱であることが通知され、29市町への配分は県の判断に委ねられました。

津市には4月5日の週に届く第1便の2箱のうち1箱が割り当てられました。1箱には487人が2回接種を受ける分量のワクチンが入っていますが、優先接種の対象となる昭和32年4月1日以前にお生まれになった津市在住の高齢者は8万5,000人いらっしゃいます。初めて届くワクチンはその0.5%分とごくわずかなことから、接種開始日の4月12日は介護老人保健施設の入所者の方々を優先することになりました。

4月26日の週には全国の市町村にそれぞれワクチン1箱が届き、5月の連休明けからは供給が潤沢になることが予想されます。配給体制も自治体の接種スピードに応じたものに切り替わりますが、16歳以上の全ての市民23万人を対象とした前例のない大規模接種を遅滞なく進めるためには特別の体制を整備する必要があります。

津市は、集団接種会場として、①津センターパレス、②イオンモール津南、③久居インターガーデンの3カ所を選定し、医師会、薬剤師会など医療関係者のご協力の下、接種体制を整えました。さらに、巡回型の集団接種会場を地域の公共施設内に設置します。個別接種には125の協力医療機関から合意をいただきました。

4月からは接種券の発送も順次行い、あとはワクチンの到着を待つばかりとなりました。今後は5月13日からの接種開始に向け、対象となる方への迅速かつ正確な情報発信に努めてまいります。接種可能な場所と日時、予約開始日とその方法など、本誌・広報津はもとより、市のホームページ、ケーブルテレビの行政情報チャンネル、町内回覧など、多様な媒体を使ってご案内します。

感染拡大を抑え、感染症収束への道筋をつけるためには速やかに住民接種を進めることが何より大切です。住民の皆さまのご協力をいただきながら全力で取り組んでまいります。

令和3年8月1日号 広報津より



新型コロナワクチンの供給が本格化した5月の連休明け以降、政府が掲げた「7月末までの高齢者接種の完了」「11月末までの希望者全員の接種完了」を目指し、全国の地方自治体はワクチン接種を全力で進めています。

市内在住の高齢者およそ8万5,000人のうちご希望の方への接種を前倒しで完了する見通しがついた6月下旬、津市は国が定めた優先接種対象である高齢者施設等の従事者への先行接種を実施しました。

さらに、津市独自の優先枠を導入し、子どもと接する方々への接種も先行させています。

三重大学における高齢者接種の予約が満たなかった枠を民間保育園の保育士294人に活用したことを皮切りに、保育所、幼稚園、こども園、小中学校、放課後児童クラブ、児童養護施設などで教育、子ども・子育て支援に従事する約6,000人を対象に別枠の特設会場を設け、新学期が始まるまでの接種完了を目指しています。

12歳以上64歳以下の方への一般接種は、対象となる市民が約16万6,800人と高齢者の2倍近くになることから、7月1日からの接種券発送に先立ち、予約時の混乱を極力回避しスムーズに接種を進める体制を組み直しました。

集団接種は予約枠を2割増やして週に2,832回分を用意しました。歯科医師の参加により接種体制を強化し、経過観察ブースと薬液充填スペースを拡充するに当たって会場レイアウトを見直し、密にならないスムーズな動線の確保に努めました。

個別接種は接種可能な各医療機関に直接予約していただくことから、津市ホームページに接種協力医療機関リストを作成しました。医療機関ごとに異なる予約の開始日や受付方法、接種日程などについて最新情報を掲載し、随時更新しています。

一般接種は、まず基礎疾患を有し入院・通院中の方々に先行して受けていただきます。対象者は約1万3,000人と推定され、7月2日からの2週間をかりつけ医等での優先予約期間としました。

基礎疾患を有する方以外の予約は7月16日から開始しました。集団接種、個別接種、どちらの場合も年齢の区分ごとに順次受け付けております。予約が殺到することによる混乱を避ける措置であり、皆さま方のご理解とご協力をお願いしているところです。

津市では週に1万2,000人のペースでワクチンを接種できる体制が構築されています。しかし、ここに来て国からのワクチン供給量の見通しが不透明となり、予約枠の追加設定に制約が加わってまいりました。

ワクチンの需給と配備には不確定要素がつきものです。津市における住民接種を滞りなく完了するため、ワクチン接種推進室の担当者たちは日々知恵を絞って工夫を重ねて在庫管理と円滑な接種体制の構築に心を砕いています。

今後もワクチン接種に関する最新の状況を報道発表や津市ホームページ、町内回覧などから皆さまに丁寧にお伝えしてまいります。

## 令和3年10月1日号 広報津より



政府は4月に「高齢者接種の7月末完了」、5月に「1日100万回接種」、6月には「希望者全員の11月末接種完了」を目標に掲げ、新型コロナワクチンの接種を強力に推進しました。

津市は5月時点で週8,000回だった接種体制を6月に1万2,000回まで増強し、同月下旬から64歳以下の優先接種を開始しました。7月には週1万5,000回体制を構築したうえで、津市独自の優先接種対象を定め、子どもと接する機会の多い教員や保育士への接種を夏休み期間中に別枠で実施するなど、7月後半の接種数は週1万8,000回を上回るようになりました。

#### ■国主導の供給体制に生じた混乱

新型コロナウイルスのワクチンは、人口割合に応じて国が2週間ごとに配分する体制がとられています。ワクチンの輸入が本格化すると、政府は全国に接種のスピードアップを要請し、接種が進む自治体には、希望に応じてワクチンの上乘せ配分が行われるようになりました。

ところが、ファイザー製の輸入量が3割減少する7～9月期を前に、ワクチンの需給状況が一変しました。6月17日、津市に配分される7月前半2週分のワクチンは1万8,720回分にしかならないことが国から通知されたのです。その直前、6月後半4万2,120回分の半分にも満たない量です。単純計算で週9,000回分にしかありません。

理由は明らかでした。政府の大号令のもと、各自治体が総力を挙げて接種を加速させた結果、全国の接種ペースにワクチンの供給が追い付かなくなったからです。

やむなく、国はワクチン117万回分を調整枠として、高齢者接種が順調に進み在庫が残り少なくなってきた自治体に配分する手法を導入しました。ところが、接種記録システムのデータを基にワクチンの使用率が大きいと判定され、追加配

分を受けることになったのは、高齢化が進み規模が小さい町村がほとんどでした。一方で、人口の多い都市部は軒並み希望量を大幅に下回り、ワクチンの偏在がさらに進んでしまったのです。

7月12日、「接種されていない在庫が市中に存在するはず」だと考える国と、「2回目接種分以外に余剰はない」と反発する自治体の主張が食い違ったまま、全国市長会社会文教委員会がオンラインで開催されました。

出席した厚生労働省の幹部は、引き続き未接種在庫の活用と全国換算で1日120万回接種へのペースダウンを要請するばかり。接種計画の見通しが立たない市長たちの叫びに対し、確保の努力を約束するのが精一杯の状況でした。

#### ■津市の情報収集と状況分析

当時、津市は16～64歳の市民に向け、接種券の発送を終えたところでした。現役世代への接種が始まる正念場でワクチンの供給が滞る不測の事態に、急遽、計画の再検討に取り掛かることになりました。

大前提とすべきは、日本の対象年齢の全国民が2回接種できるワクチンは確保されており、全体量が不足しているわけではないということです。加えて県内市長・町長との横の連携のもと、住民接種がハイペースで進む県南部では、これ以上の配分は求めている自治体が多いことも承知していました。

数週間しのげば、ワクチン供給は正常化するはずですが、その間のワクチン在庫の増減をシミュレーションし、津市としては、個別接種の増枠を求めるクリニックからの要望にはお応えできないものの、7月以降もペースを落とさず、計画通りに予約を受け付けることを決定しました。

#### ■二転三転した国の方針

その後しばらく、国のワクチン配分計画は迷走を続けました。人口の多い自治体では、集団接種会場の予約受付の停止を余儀なくされるケースが出てきたにもかかわらず、8月前半分のワクチン供給に関し、国は6週間分の「在庫」があるとみなした自治体の配分を1割減らしました。しかし、これは接種とデータの入力に時間差があった大都市がさらなる打撃を被る結果となりました。

国が方針を転換したのは、8月後半分の供給からでした。自治体の希望に応じてワクチンを配分する従来の手法を改め、12歳以上人口の8割に2回接種できるように必要な量に満たない分のワクチンを、10月までに各都道府県に配分することが通知されたのです。

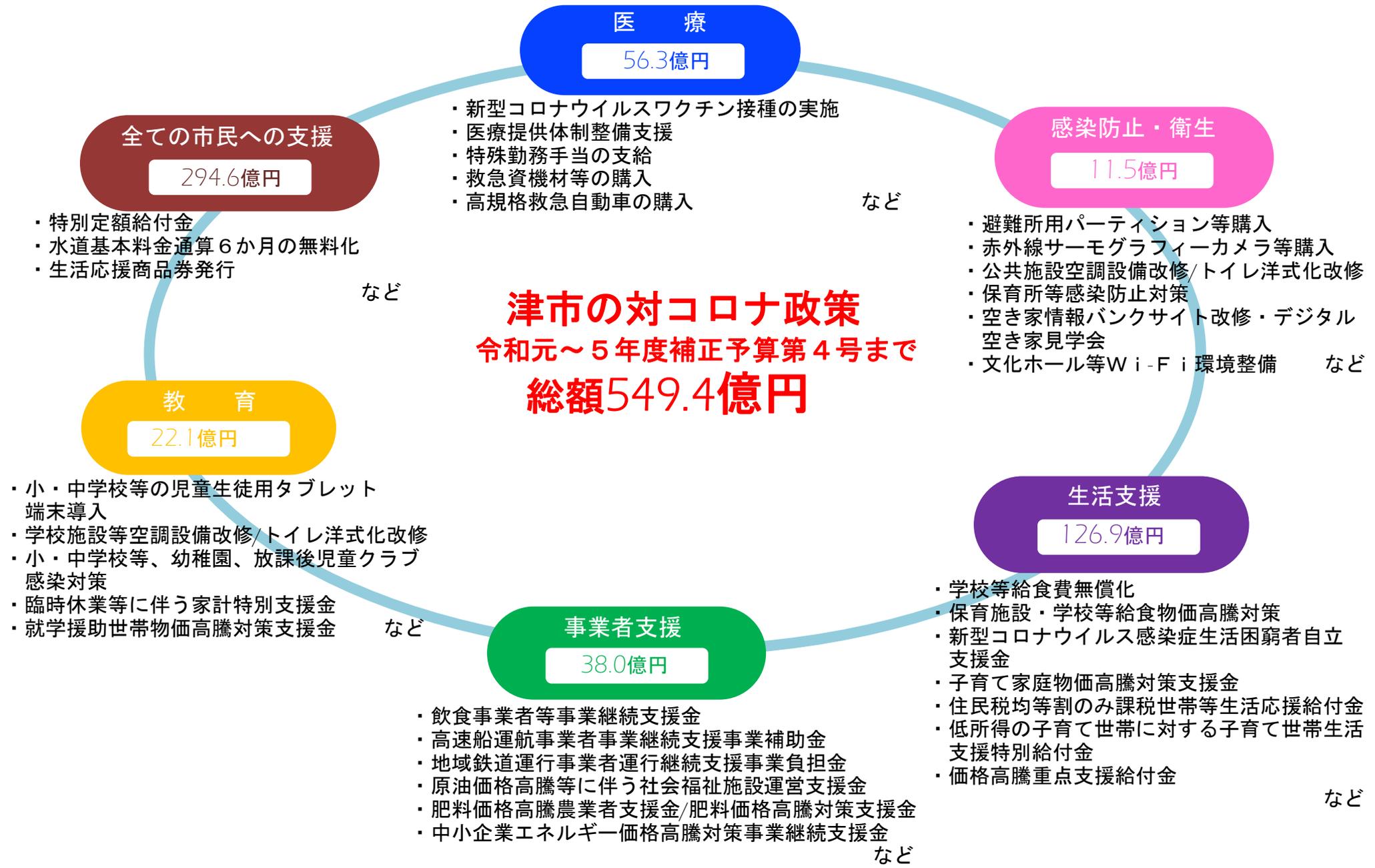
#### ■県単位で需給バランスの調整開始

三重県においても、8月後半分から県の裁量による調整枠の配分が始まりました。7月末時点における県内市町のワクチン配分率の平均は60%。津市は55%。松山市以北の自治体が軒並み60%を下回る一方、高齢化率が高い南勢東紀州は全て平均を上回り、配分率70～80%台がほとんどでした。

この不均衡の是正に向け、県が北中勢の市町にワクチンを重点的に配分するようになると、津市への配送量も2週分2万5,000回程度に回復してきました。これを受け、津市は個別接種の増枠凍結を解除し、病院やクリニックの追加配送の要請に応じることを決定。週に1,000回程度、個別接種の予約枠を広げました。

9月後半分は3万回まで上積みされ、集団接種の増枠も可能になりました。10月からは、津センターパレスと久居インターガーデンの接種時間を木・日曜日は18時まで、土曜日は21時まで延長し、若い世代の接種の加速化を図ります。さらに三重中央医療センター会場を追加で設置し、妊婦とそのパートナー、小・中・高校生専用の予約枠を確保しました。

ようやくワクチン需給バランスの着地点が明確になり、津市の接種計画の精度も上がってきました。本年分のワクチンは10月中旬に輸入が完了する見通しです。人荷状況を注視し、必要量の確保と迅速な接種に努めてまいります。



※財源内訳...国 526.8億円、県2.7億円、市5.8億円（基金活用3.7億円含む）、その他14.1億円  
 ※令和元～3年度は決算額、令和4年度は補正予算第16号までの予算額、令和5年度は補正予算第4号までの予算額

全ての市民への支援

294.6億円

◆全世帯と事業者の負担軽減 (17億181万円)

- R2 水道料金の基本料金 2 か月分無料化 (2億2,778万円)
- R3 水道料金の基本料金 4 か月分無料化 (4億3,891万円)
- R5 生活応援商品券発行 (10億3,512万円)

◆特別定額給付金の給付 (277億5,892万円)

- R2 特別定額給付金 (277億5,892万円)

医療

56.3億円

◆新型コロナワクチン接種の実施 (51億5,146万円)

- R2 新型コロナウイルスワクチン接種  
体制確保及び接種対策事業 (2,690万円)
- R3 新型コロナウイルスワクチン接種  
体制確保及び接種対策事業 (20億4,743万円)  
新型コロナウイルスワクチン接種  
医療従事者派遣事業 (6,038万円)
- R4 新型コロナウイルスワクチン接種  
体制確保及び接種対策事業 (19億6,395万円)  
新型コロナウイルスワクチン接種  
医療従事者派遣事業 (2,933万円)
- R5 新型コロナウイルスワクチン接種  
体制確保及び接種対策事業 (10億2,347万円)

◆救急搬送環境の充実・感染防止対策 (9,786万円)

- R2 救急救助における  
新型コロナウイルス感染症対策 (722万円)  
自動心肺蘇生器等救急資機材購入 (1,983万円)
- R3 高規格救急自動車等購入 (4,652万円)  
救急救命士リモート教育システム導入 (50万円)  
消防署感染防止対策 (83万円)
- R4 救急業務等感染防止用品購入 (1,340万円)
- R5 救急業務等感染防止用品購入 (956万円)

◆病院等のコロナ対策への支援 (3億8,486万円)

- R2 新型コロナウイルス感染症医療提供体制整備特別負担金 (3,500万円)  
特殊勤務手当 (286万円)  
高齢者インフルエンザ予防接種無償化 (1億1,275万円)  
新型コロナウイルス院内感染防止対策事業 (377万円)
- R3 新型コロナウイルス感染症医療提供体制整備特別負担金 (3,500万円)  
特殊勤務手当 (1,443万円)  
応急診療所感染防止対策 (103万円)  
二次救急輪番病院等医療提供体制強化特別負担金 (3,100万円)  
新型コロナウイルス感染症急拡大準備・  
二次救急輪番体制特別負担金 (450万円)  
新型コロナウイルス感染症急拡大対応医療環境整備支援 (504万円)  
新型コロナウイルス感染症予防対策用  
歯科用ポータブルユニット購入 (119万円)  
新型コロナウイルス感染症感染拡大・  
医療提供体制確保支援事業 (75万円)
- R4 新型コロナウイルス感染症医療提供体制整備特別負担金 (3,500万円)  
特殊勤務手当 (4,553万円)  
PCR検査委託 (123万円)  
新型コロナウイルス感染症患者受入病院  
体制強化特別負担金 (1,550万円)
- R5 特殊勤務手当 (4,028万円)

感染防止・衛生

11.5億円

## ◆避難所の感染防止対策（7,477万円）

R2 避難所資機材購入（5,729万円）

R3 避難所資機材購入（1,596万円）  
消毒液購入（152万円）

## ◆公共施設等の感染防止対策（5億5,358万円）

R1 消毒液購入（116万円）  
感染防護品購入（32万円）R2 消毒液・窓用アクリル製間仕切り板等購入（685万円）  
公共施設消毒（45万円）  
妊婦向けマスク配布（69万円）  
備蓄用マスク購入（878万円）  
赤外線サーモグラフィーカメラ等設置（382万円）  
公共施設空調設備改修（3,502万円）  
公共施設トイレ洋式化改修（1,968万円）  
集会施設消毒液配布・配置等（265万円）  
文化施設感染防止対策（20万円）R3 感染防止対策用品購入（667万円）  
公共施設空調設備改修（1億4,552万円）  
公共施設トイレ洋式化改修（5,465万円）  
スポーツ施設空気清浄機設置（209万円）  
感染拡大防止に対応した幼児健康診査（229万円）  
マルチコピー機導入（412万円）  
公共的空間安全・安心確保（消毒液購入）（105万円）  
公共施設消毒（20万円）  
市役所業務継続に向けた新型コロナウイルス感染症検査・診断（4万円）R4 公共的空間安全・安心確保（消毒液購入）（190万円）  
感染防止対策用品購入（136万円）  
公共施設空調設備改修（2億3,893万円）  
公共施設トイレ洋式化改修（1,045万円）  
市役所業務継続に向けた新型コロナウイルス感染症検査・診断（11万円）R5 公共的空間安全・安心確保（消毒液購入）（257万円）  
感染防止対策用品購入（179万円）  
市役所業務継続に向けた新型コロナウイルス感染症検査・診断（22万円）

## ◆保育所・こども園における感染対策等（4億7,719万円）

R1 保育所等感染防止対策（370万円）

R2 保育所等感染防止対策（3,623万円）  
緊急包括支援事業（6,032万円）  
保育所等空調設備改修（3,198万円）  
保育所トイレ洋式化改修（39万円）  
保育所等臨時休園等に伴う家計特別支援金等（1,740万円）R3 保育所等臨時休園等に伴う家計特別支援金（6,423万円）  
保育所等感染防止対策・かかり増し経費等支援  
・ICT環境整備（7,863万円）  
保育所等トイレ洋式化改修（1,904万円）  
保育士等処遇改善臨時特例事業（1,920万円）R4 保育士等処遇改善臨時特例事業（6,963万円）  
保育所等臨時休園等に伴う家計特別支援金（3,608万円）  
保育所等感染防止対策・かかり増し経費等支援  
・ICT環境整備（4,036万円）

## ◆リモートサービスの提供（4,885万円）

R2 公共施設ネットワーク・リモート環境整備（1,547万円）

R3 公共施設ネットワーク・リモート環境整備（191万円）  
オンラインビジネスサポート事業（65万円）  
空き家情報バンクサイト改修  
・デジタル空き家見学会（412万円）  
文化ホール等Wi-Fi環境整備（2,670万円）

## 教育

22.1億円

## ◆教育DXの推進（10億5,803万円）

- R2 G I G Aスクール構想支援（9億6,275万円）  
G I G Aスクール支援員派遣（2,413万円）  
G I G Aスクール端末活用のための  
研修用大型テレビ配置（4,375万円）  
家庭学習向け貸与用モバイル通信機器整備（1,203万円）

- R3 幼稚園ICT環境整備（317万円）  
公民館Wi-Fi環境整備（930万円）

- R4 幼稚園ICT環境整備（290万円）

## ◆教育施設の感染防止対策（7億7,757万円）

- R1 幼稚園、小・中学校等再開のための消毒液購入（116万円）

- R2 学校感染防止対策（9,733万円）  
幼稚園感染防止対策（906万円）  
放課後子供教室の再開に伴うスタートアップ支援（54万円）  
学校施設等空調設備改修（5,512万円）  
学校施設等トイレ洋式化改修（9,408万円）  
図書館書籍消毒機導入（1,004万円）  
幼稚園網戸設置（30万円）

- R3 学校感染防止対策（8,100万円）  
幼稚園感染防止対策（220万円）  
三重短期大学附属図書館閉館時返却等ポスト設置（10万円）  
学校施設等空調設備改修（8,712万円）  
学校施設等トイレ洋式化改修（3,132万円）

- R4 学校感染防止対策（8,235万円）  
幼稚園感染防止対策（323万円）  
学校給食室調理場手洗い改修（323万円）  
学校施設等空調設備改修（1億8,860万円）  
学校施設等トイレ洋式化改修（1,858万円）

- R5 学校施設等空調設備改修（1,221万円）

## ◆子どもたちの学びの保障（8,657万円）

- R2 臨時スクールバス運行（84万円）  
夏季休業期間中等の授業に必要な空調稼働（4,118万円）  
修学旅行支援（174万円）  
不登校対策推進事業（36万円）

- R3 修学旅行支援（105万円）

- R4 就学援助世帯物価高騰対策支援金（4,140万円）

## ◆放課後児童クラブの感染防止対策等（2億1,566万円）

- R1 放課後児童クラブ運営支援（2,726万円）

- R2 放課後児童クラブ運営支援（8,301万円）

- R3 放課後児童クラブ感染防止対策・ICT環境整備（4,793万円）  
放課後児童支援員等処遇改善臨時特例事業（517万円）

- R4 放課後児童クラブ感染防止対策・ICT環境整備（3,513万円）  
放課後児童支援員等処遇改善臨時特例事業（1,716万円）

## ◆臨時休業等に伴う家計支援等（6,788万円）

- R2 学校給食会計支援（1,222万円）  
準要保護世帯特別援助（1,856万円）  
臨時休業・出席停止措置に伴う家計特別支援金等（592万円）  
幼稚園かかり増し経費支援（84万円）

- R3 臨時休業・出席停止措置に伴う家計特別支援金（462万円）  
幼稚園教諭等処遇改善臨時特例事業（83万円）

- R4 臨時休業・出席停止措置に伴う家計特別支援金（2,169万円）  
幼稚園教諭等処遇改善臨時特例事業（320万円）

## ◆三重短期大学学生への支援（120万円）

- R2 三重短期大学学生支援（120万円）

## 事業者支援

38.0億円

### ◆全ての業種を対象とした支援（4,933万円）

- R2 津市事業継続支援金（2,480万円）
- R3 中小企業振興事業補助金（コロナ枠）（50万円）  
緊急事態宣言発令に伴う  
津市事業者緊急支援金（2,343万円）
- R4 中小企業振興事業補助金（コロナ枠）（60万円）

### ◆店舗等への支援（24億8,155万円）

- R2 プレミアム付商品券発行（19億7,960万円）  
津がんばるマルシェ（592万円）  
久居版津がんばるマルシェ（15万円）
- R3 がんばる事業者応援プロジェクト（684万円）
- R4 プレミアム付デジタル商品券発行（4億7,691万円）  
津がんばる事業者情報発信支援・  
相談拠点設置等（1,199万円）  
久居版津がんばるマルシェ（9万円）
- R5 久居版津がんばるマルシェ（5万円）

### ◆地域公共交通事業者への支援（1億3,150万円）

- R2 高速船運航事業者運航継続支援事業補助金（1,871万円）  
産業・スポーツセンター  
路線バス運行継続支援金（280万円）
- R3 高速船運航事業者運航継続支援事業補助金（2,771万円）  
地域鉄道運行事業者運行継続支援事業負担金（269万円）
- R4 高速船運航事業者運航継続支援事業補助金（4,372万円）  
高速船運航事業者運航継続支援事業補助金  
（原油価格高騰対策）（1,380万円）  
地域鉄道運行事業者運行継続支援事業負担金（710万円）  
路線バス運行事業者燃油価格高騰対策支援金（387万円）
- R5 高速船運航事業者運航継続支援事業補助金  
（原油価格高騰対策）（1,110万円）

### ◆特に影響が大きい事業者への支援（11億3,814万円）

- R2 三重県新型コロナウイルス感染症拡大阻止協力金（3億6,872万円）  
飲食事業者事業展開支援金（125万円）  
観光・イベント事業維持支援金（255万円）  
スポーツ施設事業継続支援金（1億300万円）  
市民活動・産業・観光施設事業継続支援金（119万円）
- R3 飲食事業者等事業継続支援金（3,980万円）  
飲食・観光事業者等事業継続支援金（5,520万円）  
三重とわか国体中止に伴う津市事業者緊急支援金（1,191万円）  
感染防止対策認証施設事業継続支援金（4,990万円）  
農業経営収入保険加入支援（611万円）
- R4 感染防止対策認証取得促進事業継続支援金（1,080万円）  
農業経営収入保険加入支援（669万円）  
小規模企業者原油価格高騰対策事業継続支援金（4,775万円）  
中小企業エネルギー価格高騰対策事業継続支援金（1億3,261万円）  
障害者支援施設・介護保険施設等運営支援金（2,081万円）  
障害福祉サービス・介護保険サービス等事業者  
原油価格高騰対策事業継続支援金（1,014万円）  
肥料価格高騰農業者支援金（300万円）  
肥料価格高騰対策支援金（196万円）  
畜産事業者事業継続支援金（450万円）  
食肉公社エネルギー価格高騰対策支援金（340万円）  
エネルギー価格高騰対策支援金（9,528万円）  
※スポーツ施設、医療機関等、児童館、保育施設、榊原温泉湯の瀬、  
放課後児童クラブ、中央学校給食センター
- R5 農業経営収入保険加入支援（764万円）  
肥料価格高騰農業者支援金（200万円）  
肥料価格高騰対策支援金（1,816万円）  
障害者支援施設・介護保険施設等物価高騰対策支援金（1億296万円）  
物価高騰対策支援金（3,076万円）  
※スポーツ施設、児童館、子育て支援センター、保育施設、集落営農  
組織、榊原温泉湯の瀬、青山高原保健休養地、わかすぎの里、グリー  
ンハウス美杉、ヒストリーパーク塚原、美し郷霧山、伊勢奥津駅  
前観光案内交流施設、放課後児童クラブ、中央学校給食センター  
商店街等アーケード・街灯電気料金高騰対策支援金（5万円）

## 生活支援

126.9億円

### ◆給食費無償化等（5億5,871万円）

R2 給食費3か月分無償化等（4億4,065万円）

R4 保育施設給食物価高騰支援（1,383万円）  
学校等給食物価高騰対策支援金（3,591万円）

R5 保育施設給食物価高騰支援金（1,516万円）  
学校等給食物価高騰対策支援金（5,316万円）

### ◆子育て・ひとり親世帯への家計支援（60億3,699万円）

R2 子育て世帯への臨時特別給付金（3億4,194万円）  
ひとり親世帯への臨時特別給付金（3億4,457万円）

R3 低所得の子育て世帯に対する  
子育て世帯生活支援特別給付金（2億8,184万円）  
子育て世帯等臨時特別給付金（38億6,461万円）

R4 低所得の子育て世帯に対する  
子育て世帯生活支援特別給付金（2億8,065万円）  
子育て世帯等臨時特別給付金（5,943万円）  
子育て家庭物価高騰対策支援金（5億1,119万円）

R5 低所得の子育て世帯に対する  
子育て世帯生活支援特別給付金（2億9,304万円）  
低所得のひとり親世帯生活応援給付金（5,972万円）

### ◆外国籍住民への生活支援（129万円）

R2 自立支援強化のための多言語翻訳機導入（6万円）

R3 外国人住民向け専門相談会（47万円）  
多言語翻訳機導入（5万円）

R4 外国人住民向け専門相談会（47万円）  
ウクライナ避難民支援（24万円）

### ◆市民活動の維持・継承（1,734万円）

R2 住民が主体となった通いの場の再開に伴う  
スタートアップ支援（367万円）  
文化芸術活動等支援事業補助金（199万円）

R3 文化芸術活動等支援事業補助金（452万円）  
津まつり文化継承事業（95万円）  
久居まつり文化継承事業（102万円）  
市民活動団体活動促進事業（33万円）

R4 文化芸術活動等支援事業補助金（486万円）

### ◆市民福祉の確保（608万円）

R2 民生委員・児童委員の非接触型活動支援（400万円）  
社会福祉協議会支援（150万円）

R3 コロナ禍における在宅介護予防（58万円）

### ◆市民の日常生活の確保（60億6,386万円）

R2 住居確保給付金（936万円）  
放課後等デイサービス支援（53万円）

R3 新型コロナウイルス感染症  
生活困窮者自立支援金（2,709万円）  
住民税非課税世帯等臨時特別給付金（25億6,509万円）  
生理用品無償配布（58万円）

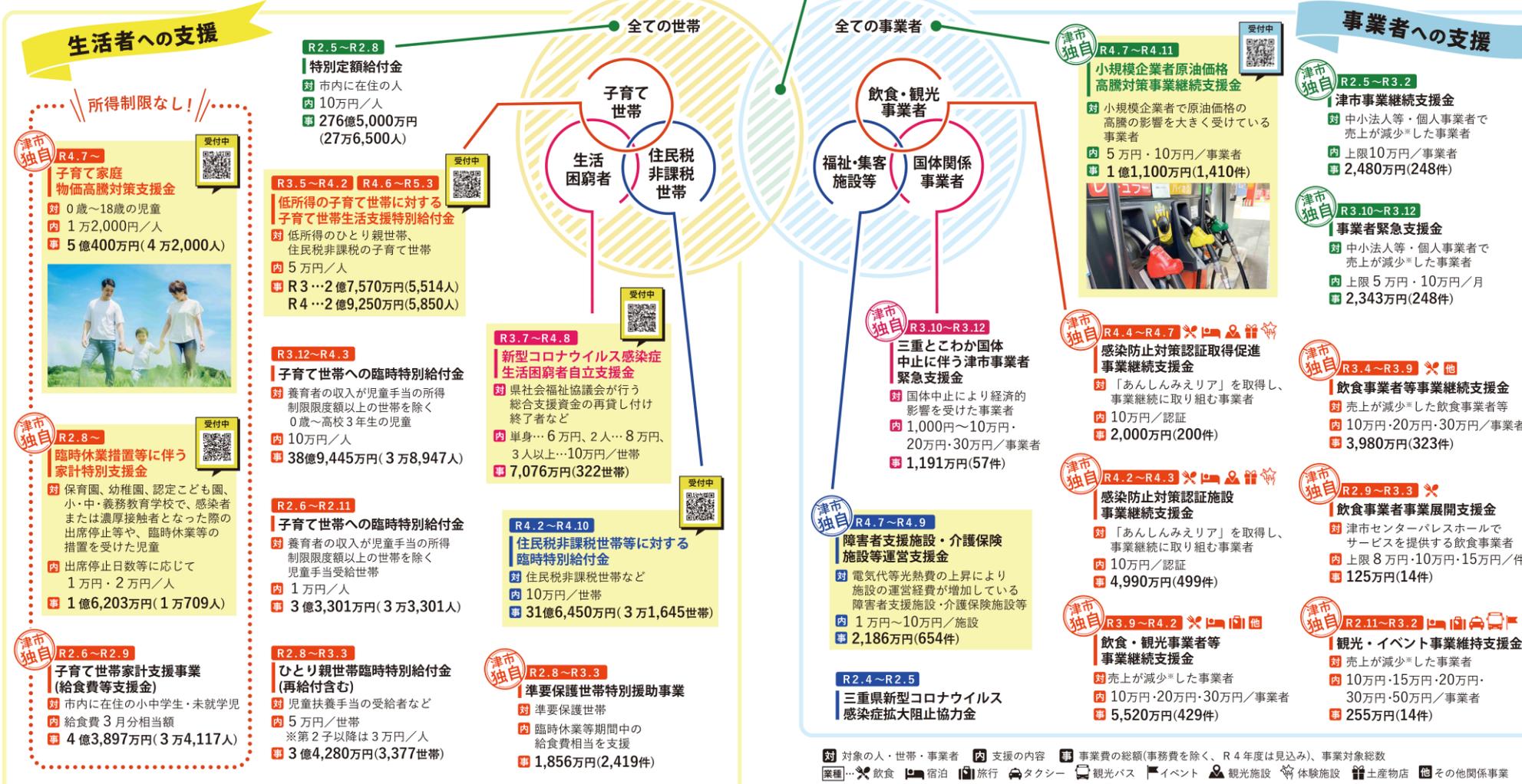
R4 新型コロナウイルス感染症  
生活困窮者自立支援金（1,855万円）  
住民税非課税世帯臨時特別給付金（5億3,388万円）  
電力・ガス・食料品等  
価格高騰緊急支援給付金（17億9,837万円）  
住民税均等割のみ課税世帯等  
生活応援給付金（1億5,323万円）  
自治会防犯灯電気料金高騰対策支援金（823万円）

R5 価格高騰重点支援給付金（9億4,895万円）

令和4年8月1日号 広報津より

## コロナ禍における津市の生活者・事業者支援

新型コロナウイルス感染症の流行が長期化する中、津市では全ての生活者と事業者の皆さんへさまざまな支援を実施してきました。  
現在実施中の各支援について、詳細は津市ホームページをご覧ください。



### 生活者への支援

**所得制限なし!**

**津市独自 R4.7~** **子育て家庭物価高騰対策支援金**  
 対 0歳~18歳の児童  
 内 1万2,000円/人  
 額 5億400万円(4万2,000人)

**津市独自 R2.8~** **臨時休業措置等に伴う家計特別支援金**  
 対 保育園、幼稚園、認定こども園、小・中・義務教育学校で、感染者または濃厚接触者となった際の出席停止等や、臨時休業等の措置を受けた児童  
 内 出席停止日数等に応じて1万円・2万円/人  
 額 1億6,203万円(1万709人)

**津市独自 R2.6~R2.9** **子育て世帯家計支援事業(給食費等支援金)**  
 対 市内に在住の小中学生・未就学児  
 給食費3月分相当額  
 額 4億3,897万円(3万4,117人)

### 全ての世帯

**R2.5~R2.8** **特別定額給付金**  
 対 市内に在住の人  
 内 10万円/人  
 額 276億5,000万円(27万6,500人)

**R3.5~R4.2 R4.6~R5.3** **低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金**  
 対 低所得のひとり親世帯、住民税非課税の子育て世帯  
 内 5万円/人  
 額 R3...2億7,570万円(5,514人)  
 R4...2億9,250万円(5,850人)

**R3.12~R4.3** **子育て世帯への臨時特別給付金**  
 対 養育者の収入が児童手当の所得制限限度額以上の世帯を除く0歳~高校3年生の児童  
 内 10万円/人  
 額 38億9,445万円(3万8,947人)

**R2.6~R2.11** **子育て世帯への臨時特別給付金**  
 対 養育者の収入が児童手当の所得制限限度額以上の世帯を除く児童手当受給世帯  
 内 1万円/人  
 額 3億3,301万円(3万3,301人)

**R2.8~R3.3** **ひとり親世帯臨時特別給付金(再給付含む)**  
 対 児童扶養手当の受給者など  
 内 5万円/世帯  
 ※第2子以降は3万円/人  
 額 3億4,280万円(3,377世帯)

**R3.7~R4.8** **新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金**  
 対 県社会福祉協議会が行う総合支援資金の再貸し付け終了者など  
 内 単身...6万円、2人...8万円、3人以上...10万円/世帯  
 額 7,076万円(322世帯)

**R4.2~R4.10** **住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金**  
 対 住民税非課税世帯など  
 内 10万円/世帯  
 額 31億6,450万円(3万1,645世帯)

**津市独自 R2.8~R3.3** **準要保護世帯特別援助事業**  
 対 準要保護世帯  
 内 臨時休業等期間中の給食費相当を支援  
 額 1,856万円(2,419件)

### 全ての事業者

**津市独自 R4.7~R4.9** **障害者支援施設・介護保険施設等運営支援金**  
 対 電気代等光熱費の上昇により施設の運営経費が増加している障害者支援施設・介護保険施設等  
 内 1万円~10万円/施設  
 額 2,186万円(654件)

**津市独自 R3.10~R3.12** **三重とごわが国体中止に伴う津市事業者緊急支援金**  
 対 国体中止により経済的影響を受けた事業者  
 内 1,000円~10万円・20万円・30万円/事業者  
 額 1,191万円(57件)

**津市独自 R4.7~R4.11** **小規模企業者原油価格高騰対策事業継続支援金**  
 対 小規模企業者で原油価格の高騰の影響を大きく受けている事業者  
 内 5万円・10万円/事業者  
 額 1億1,100万円(1,410件)

**津市独自 R4.4~R4.7** **感染防止対策認証取得促進事業継続支援金**  
 対 「あんしんみえリア」を取得し、事業継続に取り組む事業者  
 内 10万円/認証  
 額 2,000万円(200件)

**津市独自 R4.2~R4.3** **感染防止対策認証施設事業継続支援金**  
 対 「あんしんみえリア」を取得し、事業継続に取り組む事業者  
 内 10万円/認証  
 額 4,990万円(499件)

**津市独自 R3.9~R4.2** **飲食・観光事業者等事業継続支援金**  
 対 売上が減少した事業者  
 内 10万円・20万円・30万円/事業者  
 額 5,520万円(429件)

**R2.4~R2.5** **三重県新型コロナウイルス感染症拡大阻止協力金**  
 対 対象の人・世帯・事業者  
 内 支援の内容  
 額 事業費の総額(事務費を除く、R4年度は見込み)、事業対象総数

### 事業者への支援

**津市独自 R2.5~R3.2** **津市事業継続支援金**  
 対 中小法人等・個人事業者で売上が減少した事業者  
 内 上限10万円/事業者  
 額 2,480万円(248件)

**津市独自 R3.10~R3.12** **事業者緊急支援金**  
 対 中小法人等・個人事業者で売上が減少した事業者  
 内 上限5万円・10万円/月  
 額 2,343万円(248件)

**津市独自 R3.4~R3.9** **飲食事業者等事業継続支援金**  
 対 売上が減少した飲食事業者等  
 内 10万円・20万円・30万円/事業者  
 額 3,980万円(323件)

**津市独自 R2.9~R3.3** **飲食事業者事業展開支援金**  
 対 津市センターパレスホールでサービスを提供する飲食事業者  
 内 上限8万円・10万円・15万円/件  
 額 125万円(14件)

**津市独自 R2.11~R3.2** **観光・イベント事業維持支援金**  
 対 売上が減少した事業者  
 内 10万円・15万円・20万円・30万円・50万円/事業者  
 額 255万円(14件)

### 生活者・事業者への支援

**津市独自 R2.6~R2.7 R3.11~R4.2** **水道料金基本料金無料化**  
 対 全ての給水契約者(令和3年度は官公庁等を除く)  
 内 基本料金の無料化(R2...2カ月分、R3...4カ月分)  
 額 6億5,722万円

**津市独自 R2.10~R2.12** **プレミアム付商品券**  
 内 市内の取扱店で使える1冊5,000円の商品券に、2,000円分のプレミアムを付けて発行  
 額 19億4,139万円(277,342冊)

**津市独自 R4.7~R4.10** **プレミアム付デジタル商品券**  
 内 市内の取扱店で使える1万円または5,000円のデジタル商品券に20%のプレミアムを付けて発行  
 額 20億4,000万円

対 対象の人・世帯・事業者 内 支援の内容 額 事業費の総額(事務費を除く、R4年度は見込み)、事業対象総数  
 ※売上の減少率・条件など、詳細は津市ホームページをご覧ください。

# 特別定額給付金①

**スタート  
ダッシュ**

R2.4.16 国が給付金の支給を発表  
 R2.4.22 **12名の職員を配置し、給付作業工程に係る準備を開始**  
 R2.5.1 新型コロナウイルス感染症対策(特別定額給付金関係)R2年度津市一般会計補正予算(第2号)の可決

専門チーム  
早期立ち上げ

県内最速

## 早期給付の工夫

作業の進捗状況に合わせて、各部署から**フレキシブルな事務応援体制**を構築(膨大な事務処理を停滞させない体制)

- R2.5.11 特別定額給付金等推進室での給付作業に係る**各業務の現場担当責任者**として辞令発令**15名**
- R2.5.13~5.29 開封整理、内容点検、データ入力など各業務の応援
  - ・会計年度任用職員 最大時 **107名**
  - ・業務応援職員(勤務時間内) 最大時 **41名**
  - ・業務応援職員(夜間・土・日) 最大時 **65名**
- 市民生活相談案内窓口での給付金に係る受付 **8名**



【電算会社】  
給付業務に必要な印字システムを約2週間前倒して構築(県内最速(5.10)で申請書の発送が可能に)

【三重県印刷工業組合 津支部】  
申請書に同封する「返信用封筒」及び「特別定額給付金申請書記載要領」を**1日で印刷**

【郵便局】  
5.10夕方、全申請書約12万6千通のうち第1便となる約2万通の**大量発送**を受け入れてくれ、最も早い世帯では翌日の5.11に申請書送達

【銀行(指定金融機関)】  
給付金の**振込作業**を毎日(土・日除く)とし、振込データを渡した翌日には申請者に振込

◆前回(平成21年時)の給付金事務での課題を調査・研究し、申請書を**津市独自の様式**に  
 ◆**オンライン申請の見切り**(郵送申請を推奨)

◆**専門職員の活躍**(本市職員専任のコールセンターの設置、外国語通訳の配置、児童養護施設・医療施設等への訪問)  
 ◆市長Facebookでリアルタイムに**情報発信**等

# 早期給付の実現

## 【早期給付の実現】津市の特別定額給付金給付率の推移

給付対象件数

【世帯数】12万7,086世帯

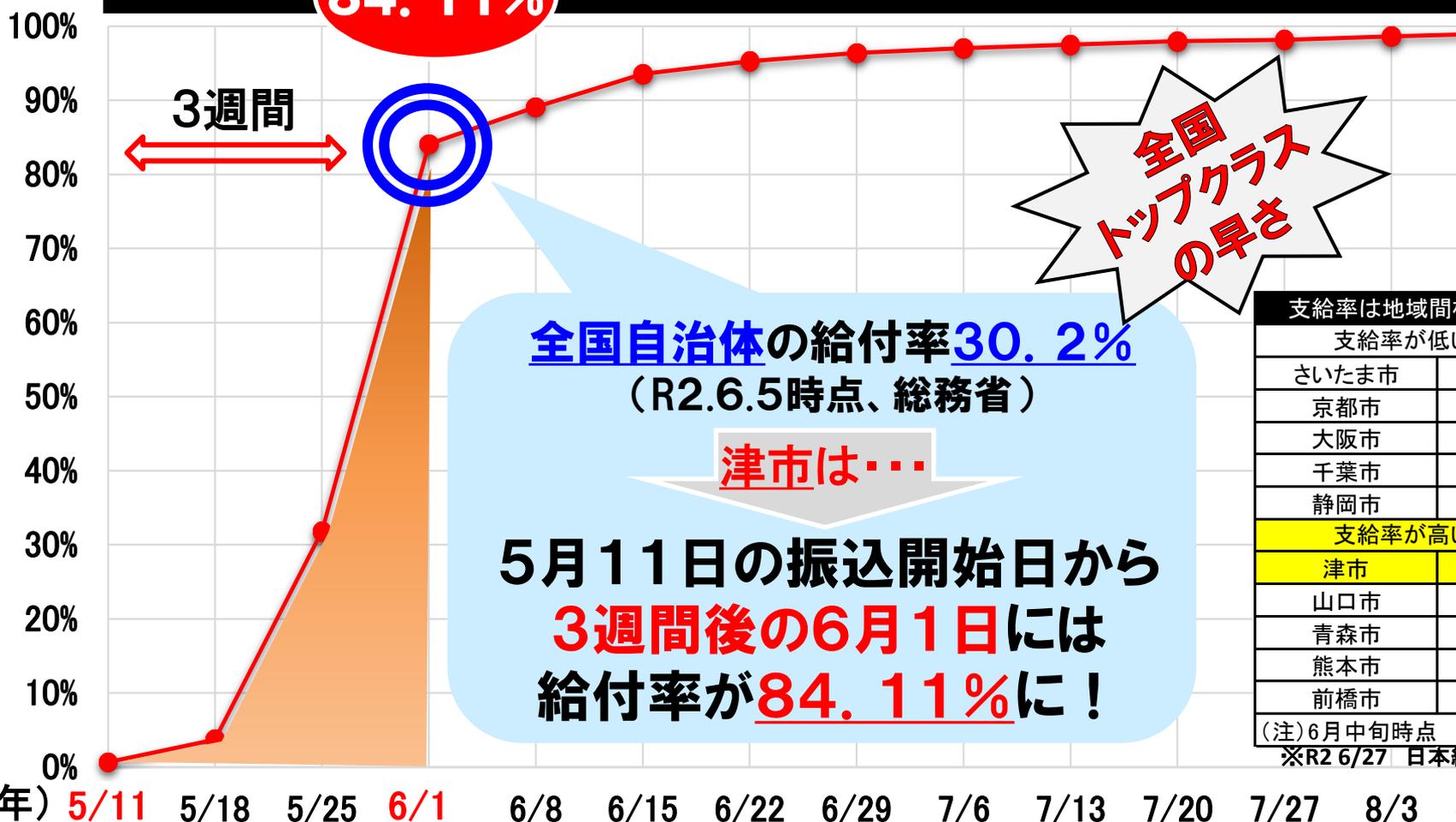
【人口】27万7,211人

3か月(申請期間)

最終実績値  
**99.52%**

※全国自治体の  
給付率98.5%  
(R2.8.21日時点、  
総務省)

5/10  
申請書の発行  
(県内最速)



**全国自治体の給付率30.2%**  
(R2.6.5時点、総務省)

津市は...

5月11日の振込開始日から  
3週間後の6月1日には  
給付率が**84.11%**に!

全国  
トップクラス  
の早さ

支給率は地域間格差が大きい  
支給率が低い自治体

さいたま市	3.1%
京都市	3.1%
大阪市	3.1%
千葉市	3.6%
静岡市	3.8%
支給率が高い自治体	
津市	96.1%
山口市	94.0%
青森市	94.0%
熊本市	94.0%
前橋市	93.8%

(注)6月中旬時点  
※R2 6/27 日本経済新聞より

振込開始

申請〆切

## 令和2年6月1日号 広報津より

市長  
コラム

Vol.97 (2020.6.1)  
Mayor's Column

「特別定額給付金」を  
一刻も早くお届けします

津市長 前葉 泰幸



新型コロナウイルスの感染状況が時々刻々と変化する今、行政には目の前の課題に組織と人員を重点的に配備する即応体制が求められています。

都市部での急速な感染拡大を受け7都府県に緊急事態宣言が発令されて間もない4月9日に開設した「市民生活相談案内窓口」には、連日70件ほどのお問い合わせやご相談が寄せられるようになりました。

感染症は市民生活のあらゆる場面に影響を及ぼしていますが、相談案内窓口で伺うお話のほとんどは経済的な支援に関する内容でした。既に一部減収世帯に30万円の支援金が給付される政府案が示されていたこともあり、支援策の中でも個人向け現金給付についてのお問い合わせが8割近くを占める状況でした。

4月16日夜、緊急事態宣言の対象区域が全国に拡大され、総理が全国民に一人当たり10万円の「特別定額給付金」を支給することを発表。迅速か

つ的確な給付手法についての検討が始まりましたが、その段階で、この膨大な事務作業は申請から給付まで全ての流れを市町村が執り行うことになるであろうと受け止めました。支給管理は市町村の住民基本台帳のデータを活用するしかなく、金融機関窓口などでの現金給付や引き出しは感染予防の観点から回避しなければならないからです。

経済活動の停滞により厳しさを増す家計への支援が喫緊の課題であることは、個人向け給付金に関する窓口相談件数の多さが示す通りです。今は、ご家庭に一刻も早く給付金をお届けすることを最優先にすべきときだと思い定め、給付手法の決定に備えて専門チームの立ち上げに必要な人選に着手しました。

作業工程から考えると、まずは住民基本台帳のデータから手続き書類に全市民の名前を印字するプログラムが必要になります。情報システムと住民票を専門とする部署の職員の参加を求めました。印刷した手続き書類を送付するに当たっては、選挙管理委員会で選挙の入場券を短期間に大量に送付する段取りに長けた経験者は欠かせません。金融機関の口座への振り込みに関しては、平素から公金管理に携わる会計管理室の職員を加えることにしました。

国も早期の給付を目指して地方自治体に働き掛けました。20日の国予算の閣議決定を受け、22日に総務大臣から直接、市町村長宛てにメールが届き、「国会における予算の議決を待たずに事前準備に入る」ことが求められました。

早めに備えたことにより、津市は22日中に「新型コロナウイルス感染症特別定額給付金等推進室」を設置。12名の職員を配置すると同時に、国から給付に要する資金を受け入れるため、市の予算編成作業に取り掛かりました。

給付金と事務費として国から交付される額は約280億円。津市の一般会計当初予算1,096億円の3割近い大きな金額の補正予算となりましたが、財政課が最速で作業を行い28日に予算案を発表。異例のことながら津市議会のご理解をいただき県内で最も早い5月1日に臨時議会を招集、即日可決されました。

5月の連休を返上してプログラミングの作業が進められ10日には手続き書類の郵送を開始。返送されてきた申請書を受け付ける際には、本人や振込口座を確認する書類をチェックし口座番号を入力する必要がありますが、作業に時間がかかっている元も子もありません。11日以降は最大で157名のスタッフが各業務を分担する体制を整えました。一刻も早く皆さまに支援金10万円をお届けできるよう、総力戦で取り組んでいるところです。

手続きをまだお済ませでない方、ご不明の点はどうぞお気軽に津市新型コロナウイルス感染症特別定額給付金等推進室(☎059-229-3574)までお問い合わせください。最新の情報については、週に2回程度、市長メッセージを出しております。津市のホームページや行政チャンネルなどからご参照ください。